

学校概要

創立 71 周年	学校長 小山 徹	副校長 若杉 栄一	学期 3 学期制	児童・生徒数 832 人
学級数 一般級: 21 個別支援級: 4		主な関係校: 上末吉小学校、駒岡小学校、末吉小学校、下末吉小学校		

学校教育目標

私たちは「高めあう・やりぬく・感動する」生き方を大切にします。
 ○学習への興味と関心を広げ、課題をより良く解決していく生徒を育てます。
 ○話をしっかり聞き、あいさつができる生徒を育てます。
 ○規則正しい生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒を育てます。
 ○夢と希望をもち、その実現に向けてあきらめず挑戦していく生徒を育てます。
 ○豊かな感性を磨き、思いやりと優しさをもった生徒を育てます。
 ○互いの違いや良さを認め合い、友達と共感しようとする生徒を育てます。

学校の特色

- 生徒は率直な気持ちを持った生徒が多く、特に行事における取組は非常に活発である。
- 保護者は学校の活動に協力的で、特に生徒の情操面での育成に期待をしている。
- 「ふれあい交流会」「体育祭」「応援団活動が活発」等、独特の行事を運営しており、地域社会もこれらに期待している。
- 経験年数10年未満の教職員が半数を占めるが、粘り強く課題と向き合い、学校をより良くしていこうとする意識が高い。
- 生徒の基礎学力に課題があり、これを指導していく教職員のスキルにもいっそうの向上が期待される。
- 生活習慣に課題が見られる場合もあり、それに対応するための指導の方向性を統一、実践する必要がある。
- 「支援を必要とする子ども」の視点に立った教育活動をより一層充実する必要がある。

学校経営中期取組目標

- 創立71周年目となり、伝統校としてさらに前進するために教職員一体となって教育活動に取り組みます。
- ・基礎学力定着のための授業・評価の研究を実践します。
 - ・生徒と教職員の信頼関係に努め、積極的な生徒指導体制を構築します。
 - ・地域や保護者から信頼される開かれた学校づくりを実践します。
 - ・教職員が資質の向上に努め、同僚性を高め、有機的な学校運営体制を強化します。
 - ・個々の生徒の特性を理解したうえで、生徒指導の方向性を統一し、チームとして指導を行います。

小中一貫教育の取組

末吉中学校 ブロック : 上末吉小学校 駒岡小学校 下末吉小学校 末吉小学校

9年間で育てる子ども像	進んで学ぶ子ども リズムよく生活する子ども あいさつができる子ども
自校の具体的取組	①小中合同の職員研修会を実施し、小学校から連続性のあるカリキュラムづくりや、より一層の授業改善を図る。 ②小中合同の連絡会(教務主任や小中一貫担当者等が参加)を実施し、小中合同の行事が円滑に行えるようにする。 ③「6年生体験入学」「ふれあい交流会」等の行事に小学生の参加を依頼する。また、小学校の行事に中学生を派遣する。 ④「末吉中学校区スタンダード(9年間の生活の約束事)」を活用し、9年間を見通した児童支援・生徒指導を推進する。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>確かな学力</p> <p>担当 学習指導部</p>	「生徒指導の基本は授業」を合言葉に、授業改善に取り組む。「基礎基本の確実な定着」を目指す。	①次期教育課程の作成を視野に入れ、校内研修、小中一貫ブロック研修会等を通して、授業実践の向上を図る。②次期教育課程で評価方法が変わることを視野に入れて評価を研究する。③少人数指導、TTの効果的な運用をさらに研究し実践する。④生徒による授業評価を実施し、授業改善に活用する。
<p>豊かな心</p> <p>担当 学習指導部 人権道徳係</p>	教職員の人権感覚を磨き、生徒の個性の尊重を視点にした人権教育を充実し、生徒に自主自立の力を育む。	①道徳の授業について指導と評価をさらに改善し、心の育成を目指す。 ②日常の授業や行事等の取組を通して、様々な人とふれあい「豊かに生きる力」を育む。 ③人権講演会では新たなテーマを設定し、様々な経験を持つ講師の方からの学びを深める。
<p>健やかな体</p> <p>担当 保健指導部</p>	健康・安全に留意して、運動に親しむ資質や態度を育み、体力向上1校1実践運動の「基本的な運動技能の向上」を通して体力の向上を図る。	①新体力テストを体育の授業で実施するようにし、その結果を基に体力向上に向けて取り組む。 ②昼休み時間に校庭で運動することを奨励し、体力の向上を図る。
<p>特別支援活動</p> <p>担当 特別支援委員会</p>	個々の生徒の状況に応じた支援計画を設定し、効果的な特別支援を実施する。	①時間割に相談室の担当者を位置付け、学年職員と連絡を取り支援活動をさらに充実させる。②相談室の記録を活用し、支援に関する情報の共有化を行う。③カウンセラー、関係機関と情報交換を密に行い、個別の支援体制づくりを行う。
<p>生徒指導</p> <p>担当 生徒指導部</p>	生徒一人ひとりをかけがえのない人格とらえ、こころのふれあいを深め、生徒と教師の人間的な信頼関係づくりを行い、これを基に指導を行う。	①週2回、正門付近に職員を配置し、安全指導と共に明るい「あいさつ」の指導を行う。②全職員が生徒・保護者の話を受け止め、「聴く」姿勢を大切にする。③教育相談を計画的に実施し、生徒理解を深め、問題の早期発見・解決につなげる。④生徒同士や生徒と教師の対話を積み重ね、学級づくり、学校づくりを共に進める。
<p>キャリア教育</p> <p>担当 学習指導部 総合係</p>	地域や学校外部の方の教育力を生かして、生徒が将来の職業に希望を持ち、自分の進路を決定していけるよう指導する。	①1年生では「職業講話」を実施し、より多くの職種に関して質の高い授業を目指す。 ②2年生では「職業体験学習」を実施し、より多くの職種の事業所で質の高い活動や学習を目指す。 ③3年生では「進路指導」全般を通して、進路選択・決定ができることを目指す。
<p>地域連携</p> <p>担当 地域連携係</p>	学校を開き、地域と生徒の交流を進め、豊かな心(地域社会を愛する心や地域社会のために活動しようとする心)を育成する。	①「学校だより」「学校ホームページ」「校門脇の掲示板」等により積極的に地域に情報提供を行う。 ②授業参観、土曜公開授業等により、「学校を開く」ことを実践する。 ③生徒の地域行事への参加をさらに促す。
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止委員会</p>	「すべての視点は生徒のために」を中心として、様々な場を通して、心の通い合う集団作りを進め、明るく元氣よく学校生活を送ることができるよう配慮する。	①年間計画に位置付けた教育相談、学習相談をさらに充実させる。②日頃の授業、学校行事での生徒の主体的な取組を教職員一丸となって支援する。③いじめの予防・早期対策を目的として「いじめ防止対策委員会」を毎週水曜日に実施する。④関係機関との連携をさらに強化し、組織的な対応を行う。
<p>人材育成・組織運営</p> <p>担当 教務部</p>	山積する課題に対して、迅速・適切に解決できるよう、教職員個々のスキルの向上を目指すとともに、チームとして学校づくりを進める。	①困難な状況でも前向きに対処し、共に成長できる雰囲気のある職員集団作りを目指す。②主幹教諭等をリーダーとする「ミニ研修」を実施する。③「millim」等を活用し、会議の効率化、会議文書のペーパーレス化や簡約化・減量に継続して取り組む。④組織改革を検討し、無駄のない学校運営を目指す。